## nikkoam

Nikko Asset Management

# エマージング・プラス・円戦略コース

追加型投信/海外/資産複合

## 交付運用報告書

第157期(決算日2024年9月10日) 第160期(決算日2024年12月10日) 第158期(決算日2024年10月10日) 第161期(決算日2025年1月10日) 第159期(決算日2024年11月11日) 第162期(決算日2025年2月10日)

作成対象期間(2024年8月14日~2025年2月10日)

	第162期末(2025年2月10日)							
基	準		価	額	3,994円			
純	資	産	総	額	602百万円			
			第15	7期~	~第162期			
騰		落		率	3.4%			
分酉	2金(	税込	≦み) ੬	信台	60円			

- (注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- ○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- ○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。
- <運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法> 右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該 当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDF ファイルを表示
- ○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「エマージング・プラス・円戦略コース」は、2025年2月10日に第162期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、新興国の債券、株式 (預託証書を含みます。) および不動産投資信託証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお 願い申し上げます。

<641570>

### 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号 www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は 「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。 社名変更後URL: www.amova-am.com

#### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404 年前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

#### 運用経過

#### 作成期間中の基準価額等の推移

#### (2024年8月14日~2025年2月10日)



第157期首: 3,922円

第162期末: 3,994円 (既払分配金(税込み):60円)

騰落率: 3.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注)分配金再投資基準価額は、作成期首(2024年8月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

#### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、新興国のハイ・イールド社債、高配当株式、不動産に実質的に投資を行ない、 安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、主要通貨部分について、 為替ヘッジを行なうことにより為替変動リスクの低減を図っております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

#### <値上がり要因>

- ・投資有価証券からクーポン、配当収入を得たこと。
- ・新興国債券が上昇したこと。
- ・新興国株式が上昇したこと。

#### 1万口当たりの費用明細

(2024年8月14日~2025年2月10日)

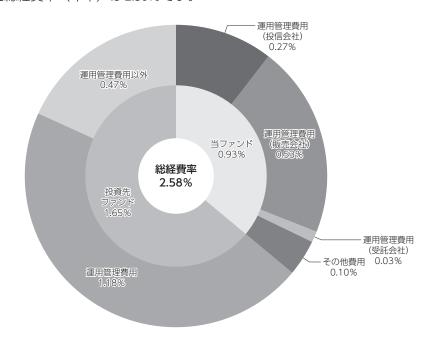
	項目					第157期~	~第162期	項目の概要
					金額	比率	り は の 気 安	
						円	%	
(a) 信		託	報		酬	17	0.415	(a) 信託報酬=作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(	投	信	会	社	)	(5)	(0.136)	委託した資金の運用の対価
(	販	売	会	社	)	(11)	(0.262)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(	受	託	会	社	)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ	0)	) 化	b j	費	用	2	0.049	(b) その他費用=作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権□数
(	監	査	費	用	)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(	EΠ	刷	月	等	)	(2)	(0.047)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
습 計 19 0.464						19	0.464	
	作成	期間の	平均基	準価額	頂は、	4,024円です		

- (注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
- (注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合もあります。

#### (参考情報)

#### ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.58%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	2.58
①当ファンドの費用の比率	0.93
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.18
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.47

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注)「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券 (親投資信託を除く。)です。
- (注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

#### 最近5年間の基準価額等の推移

#### (2020年2月10日~2025年2月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2020年2月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年2月10日 決算日	2021年2月10日 決算日	2022年2月10日 決算日	2023年2月10日 決算日	2024年2月13日 決算日	2025年2月10日 決算日
基準価額 (円	6,024	5,863	5,000	4,155	3,869	3,994
期間分配金合計(税込み) (円	)	280	240	130	120	120
分配金再投資基準価額騰落率(%	) –	2.5	△ 10.9	△ 14.3	△ 4.0	6.4
純資産総額(百万円	1,732	1,476	1,043	785	662	602

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注)騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(2024年8月14日~2025年2月10日)

#### (新興国社債市況)

新興国社債は期間を通じて概ね堅調に推移しました。

期間の初めから2024年9月末にかけては、米国景気が緩やかに減速しインフレ率が低下するなか、米国連邦準備制度理事会(FRB)が9月の金融政策会合で市場予想を上回る0.5%の利下げを行なったこともあり、米国金利が低下基調を辿ったことから新興国社債は上昇しました。10月以降は11月の米国大統領選挙でのトランプ氏の勝利や次期政権下での財政悪化リスクが意識されたこと、および12月の金融政策会合でFRBが2025年の利下げ見通し(回数)を従来よりも引き下げたことなどから米国金利は上昇したものの、11月の米国大統領選挙後の金融市場の落ち着きを好感してスプレッド(上乗せ金利)が縮小したことがベース金利上昇のマイナスを相殺し、期間末にかけて新興国社債は堅調に推移しました。

#### (新興国株式市況)

新興国株式は期間の初めから2024年10月上旬にかけて上昇した後は期間末にかけて下落し、期間末では前期末比で上昇となりました。9月には中国政府が大型の財政・金融政策を発表するとの観測から同国株が急上昇したことが新興国株式相場をけん引しました。その後は11月の米国大統領選挙・議会選挙でトランプ氏・共和党が勝利し、対中関税引き上げなどにより貿易戦争が激化するとの見方が広がったこと、および米国景気が堅調に推移してアメリカドル高となり米国金利も高止まりしたことから、新興国株式は軟調に推移しました。

国・地域別では韓国株式が軟調でした。韓国の主流の半導体などの大型株はトランプ二次政権下での 貿易戦争の影響を受けやすいと見られたこと、および12月のユン・ソンニョル(尹錫悦)大統領が出し た非常戒厳を契機とする国内政治の不安定化が売り材料視されました。

#### (新興国不動産投資信託市況)

新興国不動産は上昇しました。中国では度重なる政府の財政・金融・その他支援策の導入にもかかわらず住宅市場の調整が長期化しており、政府系を除く不動産開発会社の業績および信用力に本格的な回復の兆しは見られないままです。

#### (国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.23%近辺から、2025年1月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどを受けて、0.48%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券(TB)3ヵ月物金利は、期間の初めの0.09%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.30%近辺で期間末を迎えました。

#### 当ファンドのポートフォリオ

(2024年8月14日~2025年2月10日)

#### (当ファンド)

当ファンドでは、収益性を追求するため「アッシュモア・エマージング・マーケッツ・ハイイールドプラス・ファンド・リミテッド 日本円クラス」円建投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

#### (アッシュモア・エマージング・マーケッツ・ハイイールドプラス・ファンド・リミテッド 日本円クラス)

新興国の債券、株式、不動産に投資を行ない、インカム収益を確保しながらトータルリターンの最大化をめざしました。

ポートフォリオにおける各資産の組入比率は、概ね債券を5割~7割、株式を1割~3割、不動産を1割~2割、その他(キャッシュなど)を0割~2割としました。また、各資産のうち、主要通貨部分について、主要通貨売り/円買いの為替へッジの為替取引を行ないました。

#### (マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

#### 当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年8月14日~2025年2月10日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

#### 分配金

(2024年8月14日~2025年2月10日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

#### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

	第157期	第157期 第158期		第160期	第161期	第162期
項目	2024年8月14日~	2024年9月11日~	2024年10月11日~	2024年11月12日~	2024年12月11日~	2025年1月11日~
	2024年9月10日	2024年10月10日	2024年11月11日	2024年12月10日	2025年1月10日	2025年2月10日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.252%	0.245%	0.246%	0.247%	0.252%	0.250%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	_	_	_	_	_	_
翌期繰越分配対象額	220	229	234	240	245	253

- (注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

#### 今後の運用方針

#### (当ファンド)

引き続き、「アッシュモア・エマージング・マーケッツ・ハイイールドプラス・ファンド・リミテッド 日本円クラス」円建投資証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」 受益証券への投資を抑制する方針です。

(アッシュモア・エマージング・マーケッツ・ハイイールドプラス・ファンド・リミテッド 日本円クラス)

新興国市場に対するポジティブな見方を維持します。

現在、新興国社債インデックスの利回りは過去10年間の中央値から1%ほど高い水準にある一方で、スプレッドは中央値を下回っています。後者は長期にわたり発行企業の財務改善が続いていること、および投資適格未満の信用力の発行体による起債が減少していることが背景にあります。

2025年をシナリオ別に予想すると、米国景気が予想以上に好調に推移する「ノーランディング」シナリオではFRBによる追加利下げはなく、10年物米国国債利回りは5.25%程度まで上昇する可能性があります。スプレッドは縮小し、外貨建て新興国国債インデックスの年間のリターンは+4%程度になると予想されます。米国景気の緩やかな減速が続く「ソフトランディング」シナリオでは、FRBは政策金利を3.5%まで引き下げ、10年物米国国債利回りは4.25%程度まで低下し、新興国国債インデックスのリターンは2桁となるとみています。

新興国の債券、株式、不動産に投資を行ない、インカム収益を確保しながらトータルリターンの最大 化をめざします。また、各資産のうち、主要通貨部分について、主要通貨売り/円買いの為替へッジの 為替取引を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

#### (マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は、原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

#### お知らせ

#### 約款変更について

2024年8月14日から2025年2月10日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

#### その他の変更について

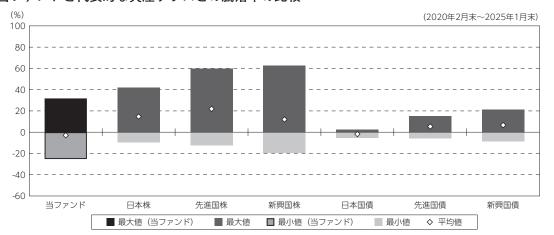
日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

#### <u> 当ファン</u>ドの概要

商	品	分	類	追加型投信/海外/資産複合
信	託	期	間	2011年8月31日から2026年8月10日までです。
運	用	方	針	主として、新興国の様々な資産を主要投資対象とする投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。)および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主	主要投資対象		象	「アッシュモア・エマージング・マーケッツ・ハイイールドプラス・ファンド・リミテッド 日本円クラス」投資証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運	用	方	法	主として、新興国の債券、株式(預託証書を含みます。)および不動産投資信託証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。各資産のうち、主要通貨(米ドルなどG10の国の通貨)部分について、主要通貨売り/円買いの為替ヘッジの為替取引を行ないます。
分	配	方	針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

#### (参考情報)

#### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	31.8	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
最小値	△ 25.3	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	△ 2.9	14.7	21.9	12.0	△ 1.8	5.3	6.7

- (注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注) 2020年2月から2025年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- (注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- (注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

#### 《各資産クラスの指数》

日本株:東証株価指数(TOPIX、配当込)

先進国株: MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債: FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JP モルガンGBI-FMグローバル・ディバーシファイド(円へッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

#### 指数について

●東証株価指数(TOPIX、配当込)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、当指数に関する著作権、知的財産権をの他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、カカーボール・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、カカーボール・リサーチ&コンサルティング株式会社に対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産をの他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円へッジなし、円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

#### 当ファンドのデータ

#### 組入資産の内容

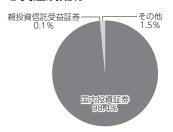
(2025年2月10日現在)

#### ○組入上位ファンド

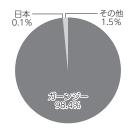
銘	柄	名	第162期末
			%
アッシュモア・エマージング	・マーケッツ・ハイイールドプラ	ス・ファンド・リミテッド日本円ク	5ス 98.4
マネー・アカウント	・マザーファンド		0.1
	組入銘柄数		2銘柄

- (注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

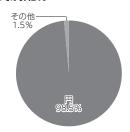
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
- (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
- (注) 国内投資証券には外国籍 (邦貨建) の投資証券を含めております。
- (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

#### 純資産等

	百				第157期末 第158期末 第15		第159期末	第160期末	第161期末	第162期末
	項			2024年9月10日	2024年10月10日	2024年11月11日	2024年12月10日	2025年1月10日	2025年2月10日	
純	資	産	総	額	637,523,459円	633,948,155円	629,493,028円	626,254,020円	604,596,445円	602,288,265円
受	益	権総		数	1,613,461,967	1,557,479,111	1,551,636,373	1,549,702,268	1,525,265,491	1,507,913,353
1	万口当	たり	基準個	額	3,951円	4,070円	4,057円	4,041円	3,964円	3,994円

(注) 当作成期間 (第157期~第162期) 中における追加設定元本額は3,648,490円、同解約元本額は117,730,103円です。

#### 組入上位ファンドの概要

#### <u>アッシュモア・エマージン</u>グ・マーケッツ・ハイイールドプラス・ファンド・リミテッド 日本円クラス



#### 【1万口当たりの費用明細】

(2023年9月1日~2024年8月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、 掲載しておりません。

(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

#### 【組入上位10銘柄】

(2024年8月31日現在)

銘 柄 名	業種/種別等	通 貨	国(地域)	比率
				%
1 C&W Senior Finance Ltd 6.875%	債券	アメリカドル	パナマ	6.4
2 Teva Pharmaceutical Finance Netherlands III BV 6.75%	債券	アメリカドル	イスラエル	5.3
3 DP World Ltd 6.85%	債券	アメリカドル	アラブ首長国連邦	4.6
4 NBM US Holdings Inc 7%	債券	アメリカドル	ブラジル	4.1
5 MTN Mauritius Investments Ltd 6.5%	債券	アメリカドル	南アフリカ	3.6
6 VTR Finance NV 6.375%	債券	アメリカドル	チリ	3.4
7 KE Holdings Inc ADR	株式	アメリカドル	中国	3.3
8 MAF Global Securities Ltd 7.875% FRN	債券	アメリカドル	アラブ首長国連邦	2.5
9 Dar Al-Arkan Sukuk Co Ltd 6.75%	債券	アメリカドル	サウジアラビア	2.5
10 Network i2i Ltd 3.975% FRN	債券	アメリカドル	インド	2.2
組入銘柄数		84銘柄		

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
- (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
- (注) 国(地域) につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

#### 【資産別配分】 【通貨別配分】 【国別配分】 ブラジル 11.6% その他 その他 15.4% 20.2% 首長国連邦 9.4% 香港ドル-その他 -中国 45.7% 4.0% 7.4% イスラエル 7.2% 債券 69.4% 南アフリカ 7.0% パナマ インド 5.3%-6.4%

- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
- (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

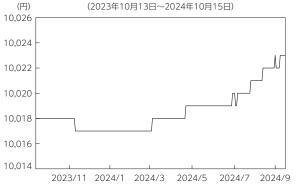
#### マネー・アカウント・マザーファンド

# 【基準価額の推移】 (2023年10月13日~2024年10月15日)

#### 【1万口当たりの費用明細】

(2023年10月13日~2024年10月15日)

該当事項はございません。



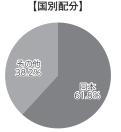
#### 【組入上位10銘柄】

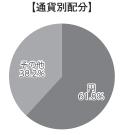
(2024年10月15日現在)

				(2021-10	11100000
	銘 柄 名	業種/種別等	通 貨	国(地域)	比率
					%
1	第442回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	61.8
2	_	_	_	_	_
3	_	_	_	_	_
4	_	_	_	_	_
5	_	_	_	_	_
6	_	_	_	_	_
7	_	_	_	_	_
8	_	_	_	_	_
9	_	_	_	_	_
10	_	_	_	_	_
	組入銘柄数		1 銘柄		

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
- (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
- (注) 国(地域) につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。







- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
- (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
- (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
- ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。